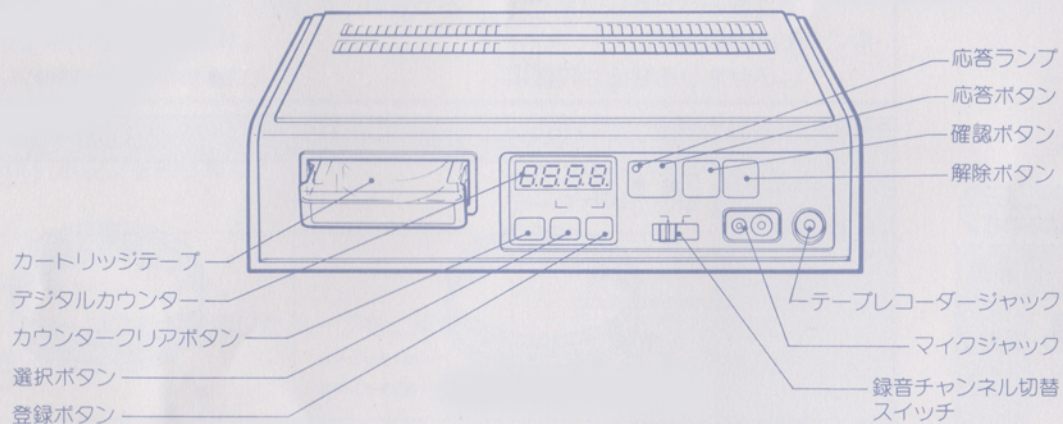
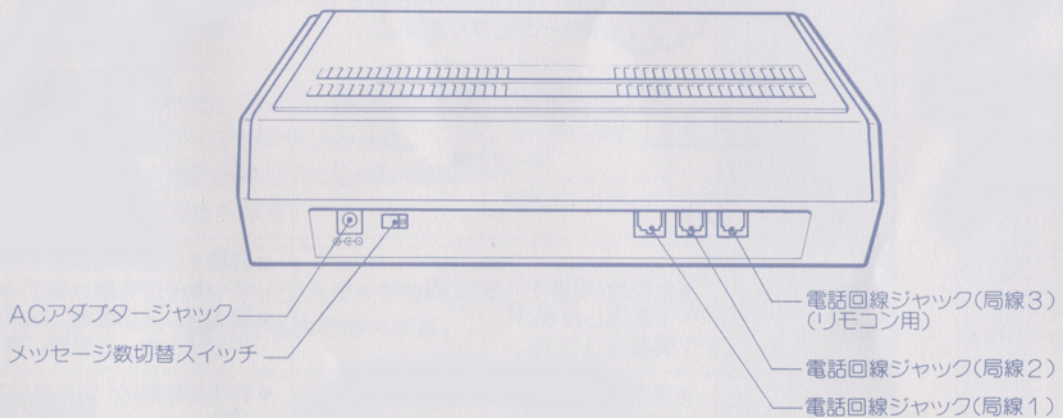


1 各部の名称

(前面)



(後面)



ご購入いただきました、ありがとうございます。
お使いになる前に、この説明書をお読みください。

■付属品

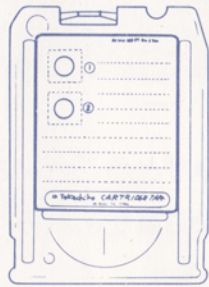
応答テープ(30秒)、ACアダプター、マイク、録音用コード、取扱説明書、保証書、届出ハガキ(各1)、局線接続コード(3)

目次

	ページ
1. 各部の名称	1
2. ご使用前に	2
★使用するテープについて	2
★テープの長さの表示について	2
★テープの互換性について	2
★メッセージ数切替スイッチについて	2
3. メッセージの録音と再生のしかた	3
●マイク録音	3
●テープレコーダからのダビング・ミキシング録音	3
4. 自動応答機能の使い方	4
●カウンターの表示について	4
5. リモコン機能の使い方	5
6. 各種登録の変更のしかた	6
7. 故障とお考えになる前に	7
8. 取付工事方法	7
操作早見表	8

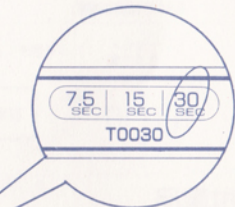
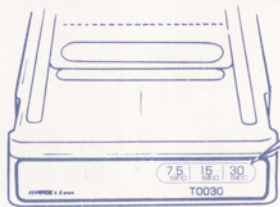
2 ご使用の前に

★使用テープについて



- ①従来の赤ラベル・青ラベル・緑ラベルのテープは本機に使用することはできません。必ずグレーのラベルのテープをご使用下さい。
- ②テープの長さは、10秒から1080秒(18分)まで各種用意してございます。

★テープの長さの表示について



- 右端の数字が本機に該当する長さ(秒数)です。
- この場合は30秒です。

ご注意

テープは構造上、表示の秒数より3~4秒・誤差のある場合があります。

★テープの互換性について

本機専用の録音方式をとっておりますので他の機種で録音したテープを本機で使用することはできません。

(又、本機で録音したテープを他の機器で使用することもできません。)



★ACアダプターについて

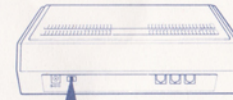
- ACアダプターは付属のもの以外ご使用になれません。
- 100V用ですので、海外ではご使用になれません。
- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずACアダプターの本体を持って抜いてください。



★メッセージ数切替スイッチについて

- 本機を1メッセージ式に使用するか、2メッセージ式に使用するかを選択するスイッチです。用途に応じて選択します。
- このスイッチの位置により、メッセージの録音・再生・および自動応答時のテープの動きが異なりますのでご注意ください。

■メッセージ数切替スイッチ (本機後部)



メッセージ数




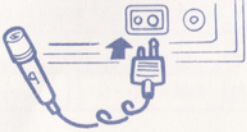
(工場出荷時、メッセージ数は「1」の設定です。)

	1メッセージ式	2メッセージ式
	概要図	
テープの動き	<ul style="list-style-type: none"> ●テープは2周します。第1チャンネルにつき、第2チャンネルが走行し、2周ぶん合わせて、「1」メッセージとなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●テープは1周するのみです。第1チャンネルと第2チャンネルは独立して動きますので、2種類のメッセージが作れます。
自動応答時の動き	<ul style="list-style-type: none"> ●全回線(局線1~3)、同一メッセージを流します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●局線1の着信には第1チャンネルのメッセージを流します。 ●局線2、3の着信には第2チャンネルのメッセージを流します。
テープの長さ	<ul style="list-style-type: none"> ●表示の秒数どおりの長さです。(例) 	<ul style="list-style-type: none"> ●表示の秒数の1/2の長さです。(例)
テープ容量	最大18分(1080秒)	最大9分(540秒)

3 メッセージの録音と再生のしかた

- 本機を1メッセージ式で使用する場合は、メッセージの録音と再生の操作を1回のみ行います。
- 2メッセージ式で使用する場合は、第1チャンネルと第2チャンネルそれぞれ同じ操作を行います。

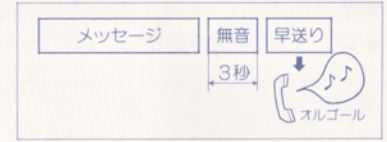
マイク録音

順序	操 作	備 考
1	録音 録音チャンネル切替スイッチにより録音するチャンネルを選択します。 (2メッセージ式のとき)	—2メッセージ式の場合のみチャンネルの選択が必要です。 (1メッセージ式の場合はチャンネル選択は必要ありません。)
2	解除 ボタンを押します。	—テープで電話に応答中の場合はメッセージをすべて流したのちテープが停止します。
3	テープをセットします。 (メッセージの長さに応じたテープをご用意下さい。)	
4	マイクをマイクジャックに差し込みます。	
5	録音表示 が出たら、マイクのスイッチを「ON」にしてメッセージを吹き込みます。 —メッセージ吹き込み中はカウンターにテープ走行秒数が表示されます。	録音表示 (1メッセージ式) REC 「REC」の表示 (2メッセージ式) REC 1 2 「又は」
6	吹き込みが終了したら、マイクスイッチを「OFF」にしてテープが停止するまで待ちます。	—ボイスコントロールが働きますので、テープの容量一杯に録音しなくても結構です。
7	再生 確認 ボタンを押します。 —スピーカからメッセージが再生されますので内容を確認します。	確認中表示 (1メッセージ式) Conf (2メッセージ式) Conf 1 2 「又は」



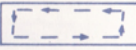
★ボイスコントロール機能について

- メッセージの録音が終了したとき、マイクを「OFF」にして3秒間の無録音部分を作ると、以後、再生時にテープの余長を早送りする機能です。
- 自動応答時に、この機能が働いて早送りしているときは、電話をかけた人にオルゴール音を流します。



ご注意 メッセージの録音途中では、3秒以上の空白を作らないで下さい。

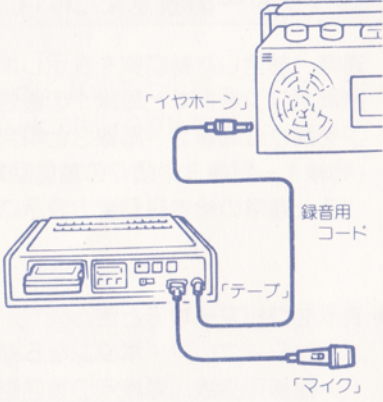
★録音を途中で失敗したときは…

- ① **解除** ボタンを押します。
—テープが高速で巻戻されます。
(表示) 
- ②テープがスタートに戻り **録音表示** が出たら、マイクのスイッチを「ON」にして再度、メッセージを吹き込みます。

★連続して録音するときは…

- 本機はマイクを差し込んだ状態で解除ボタンを押すと、「録音」モードになります。
- 何本ものテープを続けて録音するときは、録音終了しテープが停止したら、解除ボタンを押して、録音表示が出たら再操作して下さい。

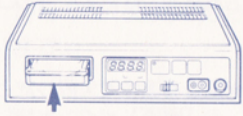

テープレコーダーからのダビング・ミキシング録音

順序	操 作	備 考
1	ダビング録音 解除 ボタンを押します。 —テープで電話に応答中の場合は、メッセージをすべて流したのちテープが停止します。	
2	応答テープをセットします。 (メッセージの長さに応じたテープをご用意下さい。)	
3	マイクをマイクジャックに差し込みます。	
4	本機の「テープ」ジャックとテープレコーダーの「イヤホン」ジャックを付属の録音用コードで接続します。	
5	テープレコーダーを再生します。(※) 録音を開始するときにマイクスイッチを「ON」にし、すぐ「OFF」にします。 (マイクスイッチを「ON」のままにすると、 ミキシング録音 となり、テープレコーダーの再生音とマイクの音声がミキシングされて録音されます。)	

(※)マイクのスイッチを「OFF」にして、テープレコーダーを再生すると、本機スピーカからモニター音が聞こえてきますので、あらかじめ録音レベルの調整をテープレコーダーのボリュームで行っておきます。

4 自動応答機能の使い方

- 業務時間外の案内、休日の案内など、応答専用の留守番電話としてご使用できます。
- 又、1～3回線用のテレホンサービスにもご使用できます。

順序	操 作	備 考
1	応答テープをセットします。 (メッセージ録音済のテープをセットします。)	
2	応答 ボタンを押します。 —— 応答ランプが点灯します。	

カウンターの表示について

通常、着信した総回数を表示します。

選択ボタンを押すと局線1の着信回数を表示し、さらに選択ボタンを押せば局線2→局線3と順次、個々の着信回数を表示します。(局線1～局線3の個々の着信回数を表示中に、10秒以上、間をあげると通常の総着信回数の表示に戻ります。)



● 表示をクリアするとき

カウンタークリア・ボタンを5秒以上押します。

—— 総着信回数、局線別の着信回数ともすべて消えます。



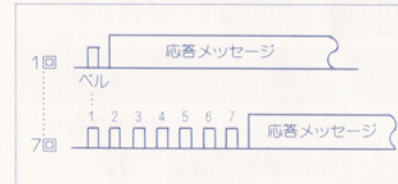
ご注意

- 3日以上ACアダプターが抜けたり、3日以上通電されないとカウンターの内部メモリーが消え、表示が"0"になる場合があります。



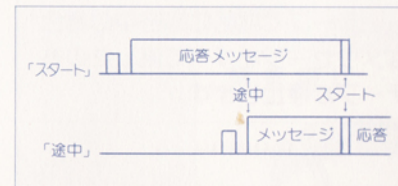
- 電話に自動応答する場合の各種の動作を、次のようにプログラムにより、ご自由に選択することができます。

a. 応答ベル回数について



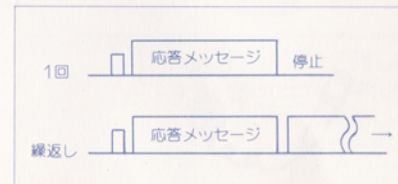
- 着信のベル何回目で応答するかを選択ができます。1回から7回まで選択できます。
初期設定値 : ベル1回目で応答します。

b. 割り込み応答について



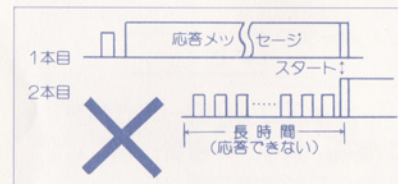
- 着信後、テープにより応答するとき、常にテープのスタートから流すのか、途中から割り込みで流すかの選択ができます。
初期設定値 : テープの途中から応答します。(割り込み応答します。)

c. メッセージの再生回数について



- テープによりメッセージを1回流すのか、繰返し流すかの選択ができます。
初期設定値 : 1回のみ流します。

ご注意 —— 長い録音テープを使用した場合



- 割り込み応答(b)の指定を割り込み"可"にして下さい。割り込み不可の登録をされると、2～3本重なって着信があった場合、あとの着信に回答するまでに長く(テープが途中からスタートへ戻るまでのあいだ)かかります。

★ 初期設定値 とは…

工場出荷時に標準登録されている各種の指定値です。

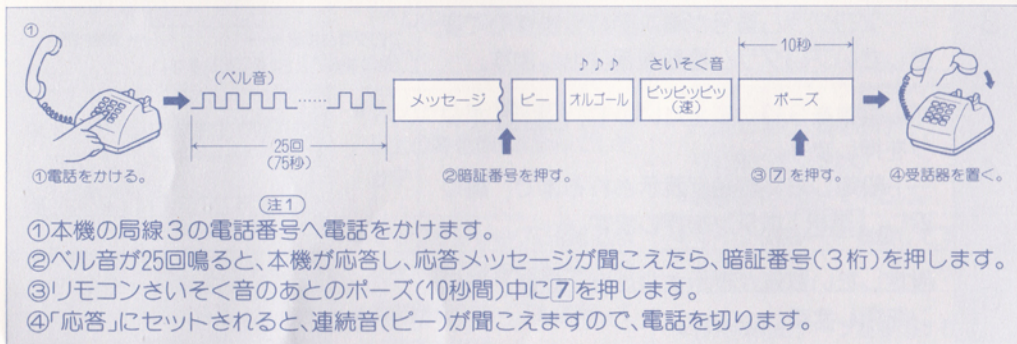
それぞれの初期設定値を変更する場合は6-2項、「設定値の変更のしかた」(6ページ)をご参照下さい。

5 リモコン機能の使い方

- 出先のプッシュホンを使って、外部から応答メッセージの吹き替えと「応答」モードのセット、リセットができます。
- リモコン操作はプッシュホン(ダイヤルしたとき「ピッポッパッ」と音がします。)を使用して下さい。
- ダイヤル式電話機やアウトパルス式電話機(押しボタン式であってもダイヤルしたとき「バラバラ」という音がするもの)ではリモコン操作はできません。
- プッシュホン以外の電話機からリモコン操作をするときは、別売のトーンコマンダー(TC-100)をお使い下さい。

「応答」にセットするとき

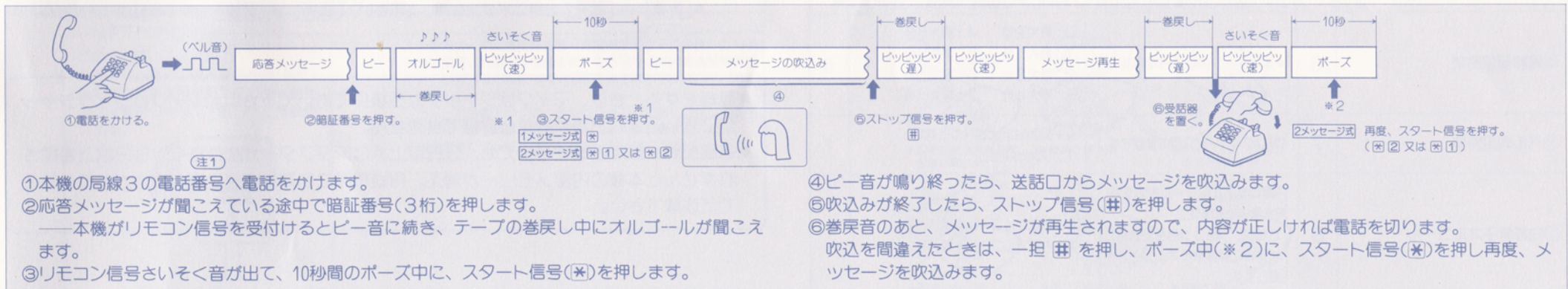
- 本機が「応答」モードになっていない場合は、外部から電話をかけると、ベル音が25回(75秒)鳴るまで呼び続けると応答状態になります。



注1 リモコン機能をご利用される場合は、必ず、本機の局線3に局線を接続して下さい。

応答メッセージを録音するとき

- 1メッセージ式の場合…次の図のように吹き込み操作を1回のみ行います。
- 2メッセージ式の場合…第1チャンネルと第2チャンネルをそれぞれ(計2回)、吹き込みします。(※2のポーズ中にスタート信号を押せば、通して吹き込みできます。)



リモコン暗証番号の登録のしかた

- リモコン操作をする前に、まず本機にリモコン暗証番号(000~999のうちの任意の3桁の数字)を登録して下さい。
- ①解除 ボタンを押します。注2
 - ②登録 ボタンを押しながら、選択 ボタンを押します。
 - ③プログラム番号「01」を表示中に 選択 ボタンを押すと、数値が1→2→3……0と変わりますから暗証番号の100位の数字を選び出します。
 - ④登録 ボタンを押すとプログラム番号が「02」の表示になりますので、③と同様に 選択 ボタンにより、暗証番号の10位の数字を選び出し 登録 を押します。
 - ⑤続いて「03」が表示されますので、1位の数字を選び、登録 ボタンを押します。
 - ⑥暗証番号を全桁登録したら 解除 ボタンを押します。
——以上で暗証番号の登録は完了です。
- 注2 登録するときはマイクはマイクジャックから抜いておいて下さい。マイクが差し込んであると登録できません。



「応答」をリセットするとき

- 「応答」にセットするときと同様に操作して、リモコンさいそく音のあとのポーズ中にリセット信号の9を押します。——リセットされると断続音(ピッピッピッ)が出ます。

6 各種登録の変更のしかた

- 電話に自動応答する場合に、テープ頭出し設定、応答までのベル回数などを、又、リモコン暗証番号を用途に応じて設定することができます。

6-1 設定の種類と初期値

それぞれの設定は、工場出荷時、下の初期値の数値になります。

変更が必要なときは6-2項の手順で数値を登録して下さい。

設定の種類	プログラム番号	内容	設定の数値と内容	初期値
A) リモコン暗証番号	01	リモコン暗証番号の100位	000~999までの任意の3桁数字	—
	02	リモコン暗証番号の10位		
	03	リモコン暗証番号の1位		
B) 割り込み応答	1	着信に回答するとき、常にテープの冒頭から回答するか、途中から割り込みで回答するかを指定。	0: テープの冒頭から回答。 (割り込み不可) 1: 途中から回答(割り込み可)	1
C) 応答までのベル回数	2	ベル何回目で応答させるか、回数の指定。	1~7(回)	1
D) 応答メッセージ終了後のボイス・コントロール	3	(アフターサービス用の登録です。)	0: ボイス・コントロールなし 1: 3秒間の無音 2: 5.5秒間の無音 3: 8.0秒間の無音 をメッセージ終了と判定	1
E) 応答メッセージ送出回数	4	自動応答機能のとき、メッセージを1回流すのか、繰り返し流すかの指定。	0: 応答メッセージを繰り返し流す。 1: 応答メッセージを1回流す。	1
F) 相手受話器、下しの判定	5	(アフターサービス用の登録です。)	0: CPC検出をしない。 1: CPC検出をする。	1
G) 局線保留時間	6	●応答テープの最長時間の指定。	0: 最大30秒 4: 最大8分 1: 最大1分 5: 最大16分 2: 最大2分 6: 最大32分 3: 最大4分 7: 最大64分	6
H) ベル判定時間	7	(アフターサービス用の登録です。)	0: 600ms以上をベルと判定。 1: 120ms以上 //	1
I) 内蔵電子オルゴール	8	内蔵の電子オルゴールを流すか、流さないかの指定。 (ただし、リモコン信号受信時には登録に関係なくオルゴールを流します。)	0: 内蔵オルゴールを鳴らさない。 1: 内蔵オルゴールを鳴らす。	1

6-2 設定値の変更のしかた

【例1】 応答までのベル回数を標準の1回から3回に変更する場合。

順序	操 作	備 考
1	解除 ボタンを押します。 (マイクはジャックから抜いておきます。)	—テープで電話に回答中の場合はメッセージをすべて流したのち登録できる状態になります。
2	登録 ボタンを押しながら、 選択 ボタンを押します。(注1)	プログラム番号 ← 1--0 → 登録内容
3	登録 ボタンを押します。 —プログラム番号が順次変わりますので変更したいプログラム番号を選び出します。	プログラム番号 ← 2--1 → 登録内容 (例の場合、「2」を選び出します。)
4	ベル回数を3回に変えたいので、 選択 ボタンを押します。 —設定したい数値が表示されるまで、繰り返し、 選択 ボタンを押します。	2--2 ↓ 2--3 (例の場合、「3」を選び出します。)
5	設定したい数値が表示されたら 登録 ボタンを押します。	—これでベル回数は3回にセットされます。
6	解除 ボタンを押します。	



- 登録している途中では、間をあげずにボタンを押して下さい。10秒以上、間をあげると自動復旧して登録できなくなります。そのときは最初からやり直して下さい。
- 登録** → **選択** の順にボタンを押して下さい。**選択** → **登録** の順では登録できません。(注1)

- 登録をするときは、マイクはジャックから抜いておいて下さい。マイクがマイクジャックに差し込まれたままですと登録できません。
- 各種登録を設定された場合でも、3日以上ACアダプターが抜けたり、3日以上通電されませんと本機の内部メモリーが消え、再通電時に初期設定値に戻る場合がありますのでご注意ください。

7 故障とお考えになる前に

●故障とお考えになる前に、まず、次の点を確認して下さい。

症状	点検	処置	参照ページ
●メッセージの録音時にマイクスイッチを「ON」にしてもテープがスタートしない。	●マイクが充分、差し込まれていませんか？	●マイクをしっかり差し込んで、録音して下さい。 (カウンターが「録音表示」になれば録音できます)	3
●確認ボタンを押しても、メッセージが聞こえない。	●他の機種で録音したテープではありませんか？	●本機以外の機種で録音したテープは使用できません。 ●本機で録音を行って下さい。	2
●メッセージの途中で、音が一瞬、途切れる。	●使用テープが間違っていないか？ (赤ラベル・青ラベル・緑ラベルのテープは使用できません。)	●グレーラベルのテープを使用して下さい。	2
●メッセージが最後まで再生されない。	●メッセージの録音途中で3秒以上の間をあげませんでしたか？	●録音の途中で、マイクを「OFF」にしたり、間をあげたりせずに喋って下さい。 ●録音をやり直して下さい。	3
●各種の登録ができない。	●マイクがジャックに差し込まれたままではありませんか？	●マイクを抜いて、登録して下さい。	5・6
応答専用機能	●電話に応答しない。 ●電話に応答するまでに呼出ベルが長く鳴る。	●長時間用のテープを使用していませんか？ ●応答指定が「スタート」(冒頭)の指定になっていませんか？	4
リモコン	●リモコン操作ができない。	●暗証番号は合っていますか？ ●局線3の電話番号に電話をかけていますか？	5

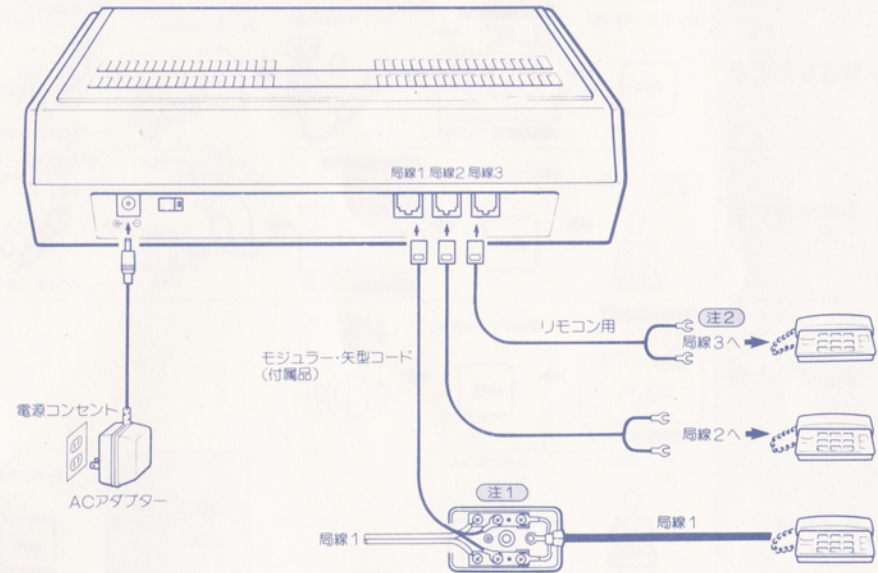
NTTへの届出

ご使用に際しては、NTTへの届出が必要ですが、添付の端末設備接続(変更)請求書に必要事項を記入のうえ、郵送または最寄りのNTT窓口へご持参願います。



この装置は、第二種情報装置(住宅地域又はその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。
しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

8 取付工事方法



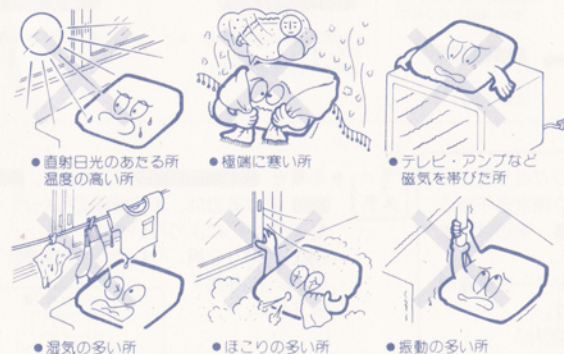
注1 本機は局線に並列に接続します。

注2 局線3はリモコン用です。

- 本機を1回線のみ使用し、リモコン機能を利用する場合は局線3のジャックに接続して下さい。
- 2~3回線使用する場合で、代表制が組んであるときは局線3にはパイロット番号以外の局線を接続して下さい。

■置き場所についてのご注意

水平で安定した所に設置して下さい。次のような場所には置かないで下さい。



操作 早見表

録音するとき	解除ボタンを押す。 2メッセージ式 録音するチャンネル を選択する。 ① ② (1メッセージ式では不要)	マイクを差し込む。 マイクスイッチをON にして吹き込む。 吹き込み終わったら マイクスイッチをOFF にする。 (テープが止まるまで待つ。)	
●メッセージ 連続録音する とき	別のテープに差し 替える。 解除ボタンを押す。 2メッセージ式 録音するチャンネル を選択する。 ① ② (1メッセージ式では不要)	マイクスイッチをON にして吹き込む。 吹き込み終わったら マイクスイッチをOFF にする。 (テープが止まるまで待つ。)	
確認するとき	2メッセージ式 確認するチャンネル を選択する。 録音チャンネル ① ② (1メッセージ式では不要)	確認ボタンを押す。 メッセージが 聞こえる。	
●留守にするとき	テープをセット する。 ↑ (留守専用テープ)	応答ボタンを 押す。 ↑ 応答	帰宅した とき ↑ 解除
●テレホンサービスで 使用するとき	テープをセット する。 ↑ (テレホンサービス用)	応答ボタンを 押す。 ↑ 応答	テープ交換するとき ↑ テープを抜く。 ↑ 15秒以内に別 のテープに差 し替える。 ↑ オルゴールが流れる。

メッセージの録音

①アッシュホンから、リモコン番号に電話をかける。 → ②メッセージが聞こえたら 暗証番号を押す。 → ③オルゴールのあととさいそく音(ピッピッ...)が聞こえたら スタート信号を押す。 → ④送話口から、メッセージを吹き込む。 → ⑤終了したら終了信号を押す。

⑥テープを巻戻したあと、録音したメッセージが聞こえてきます。つづいて、さいそく音(ピッピッ...)が出ます。 → ⑦再録音の必要のないときは、電話を切ります。 → ⑧～⑩の順に再録音します。

「留守」のセット
ベル音25回鳴るまで呼び続けると応答します。③のときに④を押します。

「留守」のリセット
③のときに⑩を押します。

メッセージ例①(業務時間内)
こちらは〇〇でございます。毎度ありがとうございます。当社の営業時間は、平日午前9時から午後6時まで、土曜日は午後1時まで、日曜・祝日は休ませていただいております。大変恐れ入りますが、営業時間内にもう一度お電話いただきますようお願い申し上げます。お電話ありがとうございました。(約30秒)

●本機を 1メッセージ式 にするか、 2メッセージ式 にするかは、本体後部の「メッセージ数切替スイッチ」により行います。(詳しくは、2頁、「メッセージ数切替スイッチについて」を参照下さい。)

アフターサービスについて

- 保証書
必ず販売店名、お買い上げ日の記入をご確認の上、お求めの販売店からお受取りになり、取扱説明書と共に大切に保管してください。
- 修理をご依頼のとき
7ページの「故障とお考えになる前に」をご覧ください。なお異常のあるときは販売店にご連絡ください。
〈ご連絡いただきたい内容〉
●ご住所 ●ご氏名 ●電話番号 ●製品名 ●製造番号(本体の裏側を参照)
●ご購入日(保証書を参照) ●故障内容 ●修理ご希望日
- その他ご不明な点は
販売店または当社営業所へご相談ください。

お客様ご相談ダイヤル ☎0120-388113 (無料電話)
●商品のお取扱いなどご不明な点は、お気軽にご相談ください。受付時間は、月～金曜日(祝日は除く)午前8時45分～午後5時30分です。

株式会社 タカコム

本社 〒461 名古屋市長区徳川1-8-48 ☎(052)937-8811代

■営業所

- 札幌 〒065 札幌市東区北十条東2-43-56(三上ビル) ☎(011)741-3344代
- 仙台 〒983 仙台市宮城野区千代3-2-14(高時ビル) ☎(022)238-5131代
- 新潟 〒950 新潟市西区内南3-3-15 ☎(025)263-1911代
- 宇都宮 〒321 宇都宮市下平土町1018-36(日崎マンション103号) ☎(0286)33-1331代
- 大宮 〒330 大宮市東大宮5-22-17(谷口ビル) ☎(048)686-1774代
- 千葉 〒281 千葉市緑区見川町5-325 ☎(0472)76-2511代
- 東京 〒136 東京都江東区東新6-7-5 ☎(03)5690-3456代
- 東京西 〒150 東京都立川市藤町2-2-19(ムトウカーサ高木308号) ☎(0425)29-1171代
- 横浜 〒225 横浜市磯子区中浜町1-8 ☎(045)753-5351代
- 静岡 〒426 静岡市津島町11-25(山形ビル) ☎(054)281-5123代
- 浜松 〒435 浜松市丸塚町543-19(二葉ビル) ☎(053)264-0633代
- 名古屋 〒461 名古屋市長区徳川110番地(岡田ビル) ☎(052)837-8822代
- 松本 〒390 松本市井川町3-1-5 ☎(0263)27-0546代
- 金沢 〒920 金沢市元町2-15-30(ケム236) ☎(0762)52-5256代
- 京都 〒600 京都市下京区大宮通山崎町下5-5(大宮駅前) ☎(075)841-7121代
- 大阪 〒550 大阪市西区江戸堀1-27-7(田辺ビル) ☎(06) 548-7575代
- 神戸 〒651 神戸市中央区南港町2-1-20(神戸住商ビル) ☎(078)241-3300代
- 岡山 〒700 岡山市多1-7-11(西岡山セントラルビル) ☎(0862)45-2911代
- 広島 〒733 広島市西区上天満町3-19(第2岡山ビル) ☎(082)291-6400代
- 高松 〒760 高松市中央町15-23(岡本ビル) ☎(0878)35-5050代
- 松山 〒790 松山市松島5-3-19(ニューオオクビル201号) ☎(0876)33-5040代
- 北九州 〒802 北九州市小倉北区片野3-6-35(コーポ富士102号) ☎(093)941-0668代
- 福岡 〒812 福岡市博多区豊1-3-14(佐藤ビル) ☎(092)431-1942代
- 長崎 〒852 長崎市平和町8-15(北田ビル) ☎(095)44-7991代
- 熊本 〒862 熊本市白山1-1-16(郷方ビル) ☎(096)372-7308代
- 鹿児島 〒890 鹿児島市武2-12-10 ☎(0992)53-2751代